

2021 年度学校だより



大江の風

今日も気温が高くなりましたね。疲れやすいでしょう。早寝早起き朝ごはん！ よろしくお願ひします。



7月5日
No.48

妹さんも一緒にお迎えありがとう。

備えあれば憂いなし「引き渡し訓練」

改めまして、先週の金曜日の「授業参観&引き渡し訓練」、ありがとうございました。授業数の関係と密にならないようにと両方考え、1～3年生だけのお家は3時、4～6年生のお家は4時にお迎えをお願いしました。授業参観の時と同じく、保護者の皆さまのマナーのよさ感激しました。スムーズに引き渡し訓練も終わることができました。



さて、この引き渡し訓練は、平成23年の東日本大震災の教訓のもと広く行われています。その「東日本大震災における学校等の被害と対応に関する調査」によると、『①電子メール等が不通となり保護者と連絡が取れない状況の中、児童の安否を確認できない不安からたくさんの保護者が自家用車で学校に押しかけ、道路の渋滞を引き起こし、保護者は動きが取れず結果的に引き渡しに大変な時間を要した。②引き渡しのルールが作られてなかったため、なかなか保護者が迎えに来ず、学校では教職員が付き添い、集団下校で児童を家に帰してしまつた。しかし帰っても家には誰もいない家庭では、余震が続く中、児童が大変不安な思いで保護者の帰りを待った。③震災当日担任が不在であったため、担任外の教員が対応したら、保護者の顔が分からず、引き渡しに時間がかかった。④引き渡しカードに記名のない人が児童の引き取りに来たため、引き渡しをしなかった。(児童も知らない人のため不審者との区別がつかなかった。)]』など課題があげられています。こうしたことを教訓として、大江小学校では緊急時に保護者(引き取り者)に対して、確実に児童を引き渡すことができるように、おととしから引き渡し訓練を始めました。「緊急時」とは、震度5以上の地震が発生した時や火災、風水害、不審者の出没などが考えられます。私は一新小の校長の時、近くの拘置所から容疑者が逃走したという連絡を受け、本当に全校児童全員引き渡しをしたことがあります。最後の方は、県南にお仕事に行かれていて20時半にお迎えに来られました。担任と一緒に子どもを励ましながらお迎えを待ちました。子ども全員を無事に保護者に引き渡すことができ、ほっとしたことを覚えています。

昨年はコロナで引き渡し訓練を中止しましたので、どうしても今年は第2回目の訓練をやらなければ、保護者も教職員も引き渡しのルールが薄れ、有事の時に備えることができないと判断し実行させていただきました。保護者の皆様のご協力に感謝いたします。ありがとうございました。

地区委員サポーターさん発足

まだ取られてない方は、PTA会議室に置いてあります。

たくさんの保護者の方に「地区委員サポーター」を引き受けていただきました。ありがとうございます。現在も各町内で当番制の登下校パトロールをしていただいております。その上に「いつでも・どこでも自由に」という通学路見守り・・・とてもありがたいです。さっそく引き渡し訓練の時に、タスキをかけて帰っていただいた保護者の方もいらっしゃいました。一人一人ができる範囲で子どもたちや地域へ目を向け、見守り活動を実施することで、大江校区の犯罪や事故が起きにくい環境をつくることができます。こういう活動が持続するには、「無理せず行う」ことが大切です。「今日は仕事が早く終わったから、子どもが帰ってくるのを途中で待ち伏せしようかな。びっくりするかしら」など楽しみながら、タスキをかけて見守りをお願いします。タスキをかけるのは、初めはちょっと恥ずかしいかもしれませんが、すぐ慣れますよ(笑)。



先週の児童集会は「生活委員会」の発表でした

名演技！

生活委員会も録画での発表でした。校内でのけがなくすための取組を発表してくれました。場面を劇にして「何がよくなかったのか」を考えさせるVTRでした。主体的にけが防止を訴えているところが素敵です。

